

# 学びのひろば

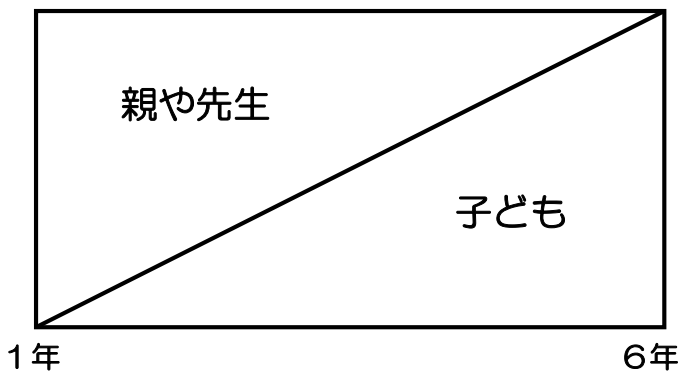
第2号 H29. 5. 1

先月、配布しました「学習の手引き」を参考に生活習慣・家庭学習の応援をよろしくお願ひ致します。

「手引き」には、本校の教育目標をはじめ、各学年における家庭学習のポイントや身に付けたい力などを載せております。また、**自立的な学習者**を目指しております。

**自立的な学習者**とは、学年が上がるにつれて、自ら課題を見つけ、その解決に向けて進んで取り組むことのできる者を指します。

下の図と言葉をご覧ください。



## 子育て四訓

- 一、乳児はしっかり肌を離すな
- 一、幼児は肌を離せ手を離すな
- 一、少年は手を離せ目を離すな
- 一、青年は目を離せ心を離すな

低学年のころは、大人の助けを多く必要とします。生活面においても歯磨きや次の日の準備など親と一緒にチェックする必要があります。また、学習では、漢字や計算ノートなど丁寧に取り組むことができているか、常にチェックする必要があります。これが基礎基本の学びにつながります。これらを積み重ねながら、子どもが自分でできるところは少しずつ「手を離し」ていきます。「手を離す」と心配な面もありますが、失敗を繰り返すことで、自分で考える子が育っていきます。しかし、「目を離すな」ですので、必ず見守ります。そうすることで、高学年を迎えたときに、親や先生の指示だけで行動するのではなく、自らが進んで取り組むことのできる学習者を育みます。

ご家庭の方でも、子どもたちの様子から「目を離さないで、手を離す」応援の方をお願い致します。

学習の手引きは、そのきっかけにお使いいただけたらと思います。